



# 利用者が少ない山口県を舞台にした 公共交通スゴロクゲームの可能性

辻辺貴晃・辻陽登・原口光・伊藤泰寿 (山口大学大学院)  
内海健・國弘七七(前山口大学大学院)

鉄道すごろく  
YAMAGUCHI

鉄道すごろくYAMAGUCHI  
2022年12月  
山口県全域で開催  
JR西日本(鉄道)を利用



バスすごろくUBE  
2022年9月~11月  
山口県宇部市内で開催  
宇部市交通局(バス)を利用

## 概要

- 大人気ゲーム「桃太郎電鉄」を模して、鉄道・バスを活用したスゴロクゲーム
- 参加者はサイコロを振って、ゴールとなる場所を目指す
- 途中、下車した場所やその周辺を散策して“魅力ある風景”を発見

## 背景

- 大学生の自家用車保有率は低く、宇部キャンパスでは約40%
- 山口大学生の多くは、日常的に公共交通を利用する頻度 少ない
- 観光地へのアクセス情報について公共交通の情報 少ない

## 強み

- 今ある公共交通サービスを活用
  - 少ないサービス水準が高いゲーム性へ
  - 訪問機会の少ない場所に強制的に訪問する可能性
  - (地方鉄道に見受けられる)
- 次の電車の待ち時間もゲーム性の向上に活用



## 結果

参加者

バスすごろくUBE 34名  
鉄道すごろくYAMAGUCHI 21名

移動記録

バスすごろくUBE 140回  
訪れた停留所 74停留所  
鉄道すごろくYAMAGUCHI 50回  
訪れた停留所 25停留所

写真

バスすごろくUBE 512枚  
鉄道すごろくYAMAGUCHI 192枚

## バススゴロクUBE ゲームマップの説明

各路線スペシャルマス



独自のルール  
徒歩移動を加える

主要幹線沿いに  
様々なイベントを用意

## 鉄道すごろくの参加者 アンケート調査(N=17)

参加者全員(17名)

- 企画が「楽しかった」
- 「今後も鉄道を使った旅をしたい」
- 従来マイナス要素の長い待ち時間
- 約6割が「楽しかった」「とても楽しかった」
- 企画を通して参加者の約7割が
- 「山口の新たな魅力に気づけた」

地方鉄道の従来マイナス要素を公共交通独自の面白さに変化させ  
自らが地域の魅力を発見し、学生の公共交通への態度の変化を促す

